

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書

<p>団体名</p>	<p>特定非営利法人教育活動総合サポートセンター</p>
<p>取組の名称</p>	<p>「こどもサポート宮ノ下」学習支援事業</p>
<p>実施場所</p>	<p>特定非営利法人教育活動総合サポートセンター 川崎市高津区下作延5丁目11番8号</p>
<p>対象地域</p>	<p>川崎市内</p>
<p>対象地域の 特色・課題</p>	<p>川崎市内の各学校では、校内はもとより、家庭や地域社会の各団体、教育委員会などの関係諸機関と連携を取りながら、様々な要因で不登校になっている児童生徒に対し、学校に復帰できるように取り組んでいるが、十分な成果を上げていない状況にある。そのような児童生徒の思いに寄り添い、安心して過ごせる居場所づくりや、きめ細かい教育相談や学習支援の場の設定が課題となっている。</p>
<p>取組の趣旨・目的</p>	<p>当サポートセンターは、「子たちに力を」を合い言葉に、平成16年から、学校、家庭、地域社会および関係諸機関と連携しながら、青少年の自立・健全育成を支援することにより、明るく豊かな社会の実現に寄与することを目的に活動している。 「こどもサポート宮ノ下」では、いじめや不登校、障害などで悩んでいる児童生徒やその保護者に対して、教育相談を継続的に実施し、一对一の個別の学習支援を行い、学校復帰や社会参加のための支援を行っている。</p>
<p>実施内容・実施スケジュール</p>	<p>○学習支援、教育相談に関すること 教育相談 児童生徒、保護者を対象に随時実施 学習支援 月曜から金曜の週5日、9時から17時まで、1回60分程度を週2回程度、一对一の学習支援を実施 ○支援を必要とする子の保護者の会 年間3回 実施</p>

	<p>○サイエンスキッズに関すること</p> <p>実施機関 令和3年1月16日から2月14日までの土曜、日曜に実施。各学校に呼びかけ、計10回実施した。</p> <p>対象者 小学生と保護者、各回12名を予定。小学校10校から延べ105名の児童・保護者が参加した。</p>		
参加者の年代	小・中学生（高校生）およびその保護者	定員 （1回あたり）	10名程度
実施頻度	週5日	活動日数 （年間）	212日
スタッフ体制	<p>スタッフ：当サポートセンターの所員 川崎市立公立学校退職教職員 および当サポートセンターの活動に賛同する市民</p> <p>体制：教育相談の面接後、学習支援を希望する小・中学生に対して一対一対応で希望する教科の学習支援を実施する。</p>		
連携する団体・連携の手法	<p>学習支援や教育相談の児童生徒については、必要に応じて児童生徒が在籍する各学校、区役所、川崎市総合教育センター、児童相談所などの関係諸機関と連携を取りながら支援の充実を図った。</p> <p>前述したサイエンスキッズは、東京応化科学技術振興団と連携して実施した。</p> <p>このほか、公益財団法人生涯学習財団と連携して、キッズセミナーを実施したり、大山街道ふるさと館で子ども探検クラブを開催したりした。</p>		
取組実施により見込まれた効果	<p>現在通所している児童生徒は、学校、ゆうゆう広場、各区SSWなどからの紹介も多いが、最近では当サポートセンターのホームページを見て見学・面接を希望するケースが増えている。</p> <p>特に今年度は、コロナ禍のための学校休校が明けた後、小学生の来所希望が増えるなど、例年とは違う動向があった。コロナ禍の影響も視野に入れながら、子どもへの支援とともに保護者の不安に寄り添う支援の充実を図ってきた。学校など関連機関と様々な形で連携を取り、一人一人の子どもにより適した学びの場、居場所を提供するとともに子どもの自立に寄与していきたい。</p>		